

シルバー人材センター



シンボルマーク

ニュース

ゆんたく

〈発行所〉

公益社団法人 沖縄市シルバー人材センター

〒904-2155 沖縄市美原 3丁目1番1号

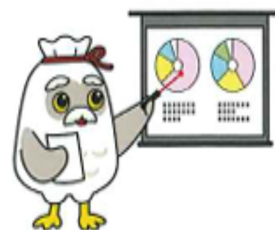
電話番号 (098) 929-1361

<http://www.okinawasisi.com>

6月末現在の会員数473人

(男性315人・女性158人)

健康管理・事故防止対策の意識高揚を徹底 安全・適正就業推進会議を前倒して開催 【6月3日からスタート】



7月は**安全・適正就業推進強化**

月間。しかし温暖化の影響で年々気温が上昇していることから、同月間のメイン行事である「令和7年度シルバー人材センター安全・適正就業推進会議」を前倒して行い、6月3日からスタート。毎週火・金曜日に各グループごとに分けて、シルバーワークプラザ2階大会議室で開催された。はじめに浜比嘉理事長が「全国統一スローガンに加えて沖縄市シルバー人材センター独自のスローガンを掲げるとともに、会員の皆さんがシルバー人生を健康で、楽しく、過ごされていくことを願っています」と挨拶。続いて、仲里安全・適正就業委員長が事故状況を報告するとともに、事故防止や熱中症予防、について会員の意識高揚と安全就業への協力をお願いした。

シルバー人材センターの理念



自主 自分のものとして考え



共働 一緒になって働き



自立 自分たちの力で育てる



共助 お互いに助け合う

目 的

シルバー事業は、発足時からの理念である「自主・自立、共働・共助」を踏まえつつ、高齢者等の雇用の安定等に関する法律第88条に規定する各種業務を展開しているが、会員の就業ニーズの多様化や地域において人手を必要とする分野の多様化、さらには近年の人手不足基調等もあり会員の就業の場は年々広がりを見せている。こうした中で、センターは、適正な形態による就業機会の提供、各種業法の遵守、適正な料金、配分金、賃金等の設定、民業圧迫への配慮など、「シルバー人材センターの適正就業ガイドライン」に沿った業務運営を徹底する必要がある。

言うまでもなく、国の補助金を受けて事業を行っている機関として、また、公益法人としての立場からも、労働法制をはじめ各種法令の遵守は当然のことであり、会員の就業に関して行政から指摘、指導を受けるような事態は直ちに解消しなければならない。

シルバー事業は、高齢者が健康で安心して「働く」ことを通じて生きがいを得るとともに、地域社会に貢献していくことを目的としており、このことからも日頃から安全・適正就業に対する意識の高揚を維持していくことが肝要である。

このため、本年も7月を「安全・適正就業強化月間」と定め、安全・適正就業について、全ての会員、役員が、個人そして組織全体の問題として捉え、事故の撲滅と受注及び就業形態の適正化を図り、「安全・安心」なシルバー事業の展開を図ることとする。

1 「安全・適正就業推進強化月間」の取組み

(1) 期 間 令和7年7月1日(土)～31日

(2) 取組内容

① 「安全・適正就業推進会議」の開催

・日 時…令和7年6月～7月31日(毎週火・金) 午前10時00分

・場 所…シルバーワークプラザ 2F 大会議室

② 横断幕やのぼり等の掲揚

③ 県シルバー連合主催の「安全大会」等への参加

④ その他、安全管理教育等の開催

2 安全就業スローガン

令和5年度～令和7年度シルバー人材センター全国統一スローガン

『安全は 無理せず 焦らず 油断せず』

これに加え、安全・適正就業委員会にて決定した沖縄市シルバー人材センター独自のスローガンを次の通り掲げることとする。

『事故ゼロで 日々笑顔』

7月 令和7年度「安全・適正就業 推進強化月間」実施要綱

3 安全・適正就業への取組み

安全・適正就業の取組みについては「安全掲示板」「ホームページ」「ニュースゆんたく」等を活用した情報の提供を行うとともに、会員自身の健康管理と事故防止対策の意識高揚を図るための取組みを行う。

(1) 安全就業

- ア 就業前のラジオ体操と作業ミーティングを徹底し、会員の健康状態を把握
- イ 単独就業は正の徹底
- ウ 危険予知活動(3W)と安全保護具(安全帽、命綱等)使用の徹底
- エ 法面(斜面)における安全就業の推進
- オ 就業現場の「安全巡回パトロール」の実施強化
- カ 安全衛生教育及び各種講習会等の充実・強化
- キ 刈払機、機械器具及び安全保護具等の点検整備の実施強化
- ク タイヤ止め使用の徹底と「高齢者運転者等に係るガイドライン」の活用及びアルコール飲酒チェックの徹底
- ケ 「安全終業ガイドブック」「安全・適正就業マニュアル」等の配布と活用
- コ 熱中症予防・対策の徹底と注意喚起、情報等の提供
- カ 危険な現場での受注拒否
- サ 感染症に係る感染防止対策の徹底、周知・推進による安心できる就業環境の確保

(2) 適正就業

- ア 「適正就業ガイドライン」を活用した、適正な就業の徹底
- イ 臨時的・短期的・軽易な就業の徹底
- ウ 発注者からの「指揮命令」や「混在就業」等の排除
- エ 「受注票」「契約書」「請書」等における不適正な記載の確認及び就業実態の自主点検

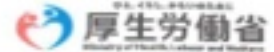
4 会員の健康管理の推進

- (1) 定期的な住民健診の受診奨励の推進
- (2) 加齢による身体機能低下の自覚促進(健康講座や体力チェック等の推進)
- (3) 十分な睡眠・休養の奨励(免疫力の維持)
- (4) 「エイジフレンドリーガイドライン」への取組
- (5) 入会時の健康状況の把握

5 熱中症への対策

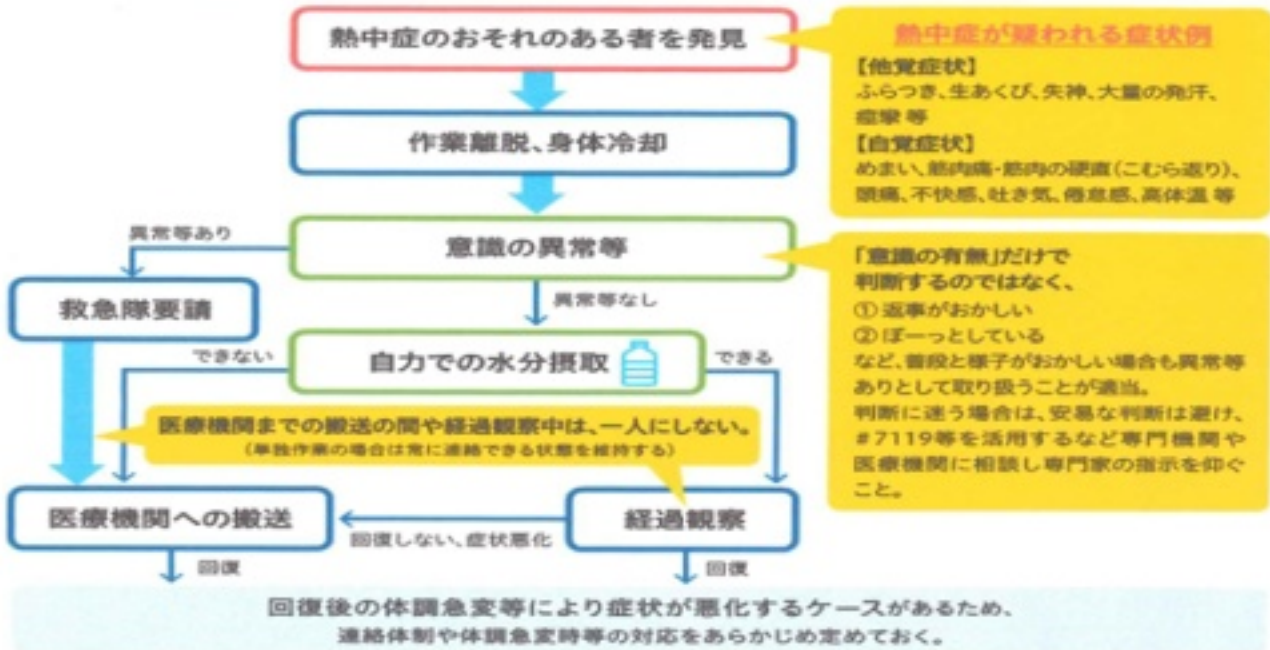
- (1) 会員への熱中症予防対策の徹底
- (2) 症状が出たときの対処方法と周知
- (3) 就業時間の短縮

職場における熱中症対策の強化について



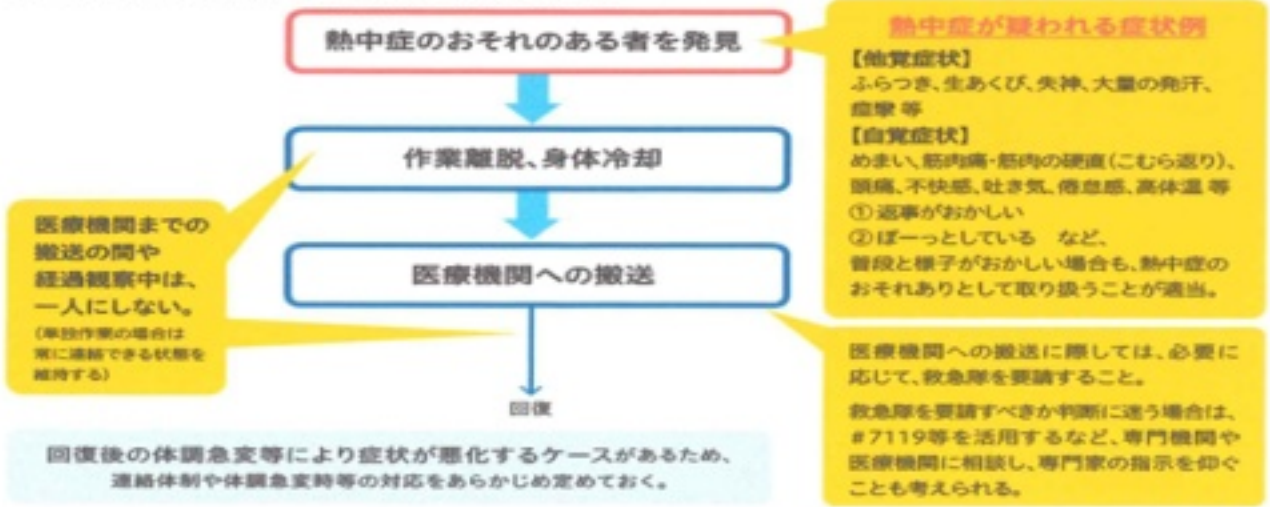
熱中症のおそれのある者に対する処置の例 フロー図 ①

※これはあくまでも参考例であり、現場の実情にあった内容にしましょう。



熱中症のおそれのある者に対する処置の例 フロー図 ②

※これはあくまでも参考例であり、現場の実情にあった内容にしましょう。



第3回理事会

議案第1号「正会員の入会」については、6人が承認されその結果、6月24日現在の会員数は473人(女性158人・男性315人)となった。なお、5月の退会者は5人。

議案第2号 令和7年度「安全・適正就業推進強化月間」実施要綱(案)は原案通り議決された。

配分金・契約金額はほぼ横ばい

ー5月実績ー

令和7年5月の主な実績では、会員数467人で27人の減少(▲5%)、就業人員253人で27人の減(▲10%)、就業延人員2673人で16人の増(1%)、配分金約1421万円で約50万円(▲4%)、契約金額約1770万円(▲3%)となった。
(対前年比同月比)

「安全は無理せず
焦らず油断せず」

「事故ゼロで 日々笑顔」

社員のみなさん。
本来業務に集中できていますか？



短期間や一時的に人手が必要なとき、どうしていますか？



そんな時に!!
シルバー派遣を



保育所・介護施設・店舗などで活躍中

派遣事業で、シルバー世代の豊かな経験が活かされています。

保育・学童
補助

- 保育補助(見守り等)
- 学童実習補助
- 保育室・施設清掃
- 調理補助
- 保育・学童の送迎車の運転 / 送迎業務 等



介護
補助

- 介護補助
- 院内清掃 / 洗濯
- 調理補助
- 食事の配膳・下膳
- 介護送迎車の運転と車両清掃 等



店舗
補助

- 商品の品出し、商品補充
- 惣菜品のパック詰め
- 調理補助(惣菜等)
- カート整理、店内清掃
- 駐車場の案内業務
- 梱包 / 各種商品管理 等



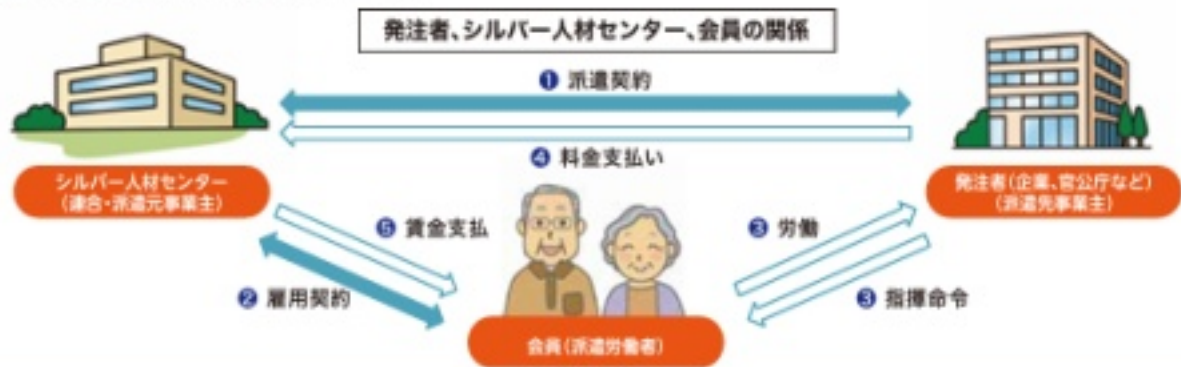
製造
補助

- 倉庫の整理、ダンボールの片づけ
- 部品加工補助
- 商品の梱包の補助
- 商品管理、食品加工補助
- 車両清掃 等



シルバー派遣の仕組み

- シルバー人材センター(連合)が、発注者から業務を受注し、会員を発注者の事業所などに派遣し、業務に従事する仕組みです。
- 連合(シルバー人材センター)が、発注者と労働者派遣契約、会員と雇用契約を締結して、会員を発注者事業所などに派遣します。
- 会員は発注者の指揮命令を受けて働きます。



— ご理解頂きたいこと —

- ① 高齢者に向けた仕事为原则ですので、危険または有害、重労働等の恐れがある仕事は実施いたしておりません。
- ② 1人の会員が就業できるのは、「臨時的かつ短期的又は軽易な業務」(月10日または20時間未満)となりますので、長時間のお仕事は、複数会員によるローテーション就業となります。(一部例外規定あり)
- ③ 実施している仕事は地域によって異なります。詳しくは、「あなたのまちのシルバー人材センター」までお問い合わせください。

お申し込み・お問合せはあなたの街のシルバー人材センター(実施事業所)へ

(公社)沖縄市シルバー人材センター ☎098-929-1361
〒904-2155 沖縄市美原3丁目1番1号

連合からのお知らせ

☆お問い合わせはシルバー人材連合まで☆

TEL : 098-871-0330

令和7年 沖縄労働者派遣事業 高齢高技能人材確保育成事業

シルバー人材センターで働くための講習

学童

補助スタッフ講習



受講者募集 **受講料 無料**

健康で働く意欲のある高齢者の**社会参加**を応援!

- 講習期間** 令和7年 8月27日(水)~28日(木) 13:00~16:00 (2日間)
- 定員** 15名
- 対象地域** 沖縄/うるま/北谷 名護/北中
- 参加対象者**
 - 対象地域にお住まいで、シルバー人材センターで就業を希望する60歳以上の方
 - 新たな分野で活躍を希望するシルバー人材センター会員
 - 対象地域以外で受講希望の方は、お問合せください。
(申し込み、申し込みセンター事務局宛または各センター宛)

講習会場: 沖縄市福祉文化プラザ
(沖縄県沖縄市港南7丁目35-1)

学童支援に必要な知識を習得します。

講習内容	1日目	2日目
	<ul style="list-style-type: none"> ●開校式・オリエンテーション ●学童保育の概要と仕方の内容 ●学童保育へ送った子どもの育成支援 ●子どもたちや保護者との関わり・ゲームや遊び 	<ul style="list-style-type: none"> ●学童期の子どもの特徴の把握・情緒理解 ●子どもたちが盛り上がるゲームや遊び ●閉校式 シルバー人材センター表彰会

※講習会により、特に詳しく見習いを受ける可能性があり、学童で働く場合は、申込書に同意書等の添付が必要となります。



公益社団法人 沖縄県シルバー人材センター連合
 〒901-2132 沖縄県浦添市伊福1-33-1 (牧港建設 第2ビル2階)
 TEL: (098) 871-0330 FAX: (098)875-0255

